TOSHIBA

Leading Innovation >>> 東芝蛍光灯直付器具(軒下用)取扱説明書(防雨形)

保管用

対象器具	FUG-41900FMG-PM9	FUG-41901FMG-PM9
適合ランプ	42Wユーライン3(FHT42) ※32Wユーライン3（FHT32）、24Wユーライン3（FHT24）もご使用いただけます。	

このたびは東芝蛍光灯直付器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この器具は、電源電圧100/200/242V共用の電子安定器を採用しております。また電源周波数に関係なくご使用できます。

お客様へ
- この器具の取付け工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 照明機器の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。

工事店様へ
- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ　施工上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
- 電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取付けかた」に従って行ってください。曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因となります。
- 器具を改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、スケルトン天井や凹凸面に取り付けないでください。防水性が損なわれ、湿気、水気の浸入により絶縁不良、感電の原因となります。
- この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。
- この器具は天井取付専用器具です。壁面や床面およびはりの部分には、取り付けないでください。指定以外の取り付けを行うと器具落下の原因となります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。（D種（第三種）接地工事）
- この器具は調光器との併用はできません。誤って使用しますと破損・発煙の原因となります。
- 風速40m/s以上のところでは、使用しないでください。器具落下の原因となります。
- 器具の取り付けは、重量の耐えるところに「器具の取り付けかた」に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- この器具は防湿形ではありません。湿気の　多い場所には使用できません。湿気の浸入に　よる絶縁不良、感電の原因となります。
- この器具は、海岸に近い塩害地区には使用できません。早期の錆発生、落下の原因となります。
- この器具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。
- この器具の送りは、6Aまでです。超えて使用しますと、感電、発熱、火災の原因となります。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となます。
- 器具同士は密着させたり、集合させて使用しますと、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
- 器具表示された電源電圧（定格電圧±6%以内）以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。
（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。）

お客様へ　使用上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります
- 器具の隙間や放熱穴に金属物などを差し込まないでください。感電や火災などの原因となります。
- ランプ交換の際は、必ず本体表示ならびに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中および消灯直後(約20分)はランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。
- 器具を水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。
- 器具を洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけないでください。器具 の破損、落下、感電などの原因となります。
- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。
- ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布でふいてください。

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。
（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）
- 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

⚠ お願い

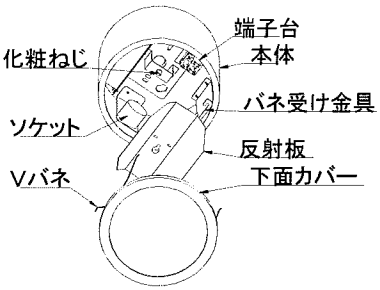
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。

■定格入力値

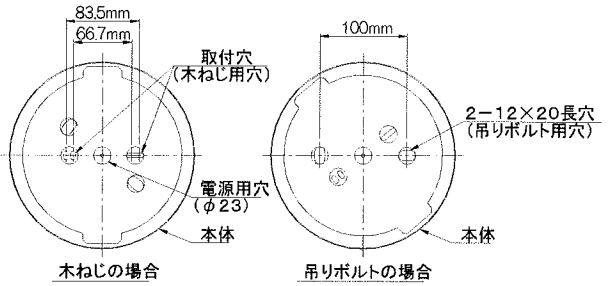
	FHT42W		FHT32W		FHT24W	
定格電圧(V)	入力電流(A)	消費電力(W)	入力電流(A)	消費電力(W)	入力電流(A)	消費電力(W)
100	0.33	33	0.27	27	0.22	22
200	0.16	32	0.14	27	0.11	22
242	0.14	32	0.12	27	0.09	22

0032511A

■各部のなまえ



■取り付けピッチ寸法



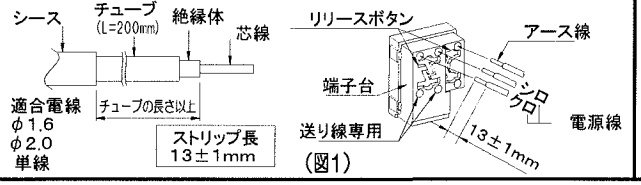
■器具の取付けかた

1 器具の埋込み穴

1. 取付前に器具重量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
   ※ロックウール等、柔らかい天井材に取り付ける場合には、必ず補強材にて補強を行ってください。
2. 本体より下面カバーを引き下げ、Vバネ(2ヶ所)をはずし本体から下面カバーをはずしてください。
3. 本体の電源用穴に電源線、アース線を通し、「■取付ピッチ寸法」に示す取付穴を使用して付属の木ねじまたは、吊りボルトを使用して本体を天井面に固定してください。
   ※器具は天井取付専用です。壁面、床面、傾斜天井には取り付けないでください。
   また、凹凸面の無い平滑な所に取り付けてください。

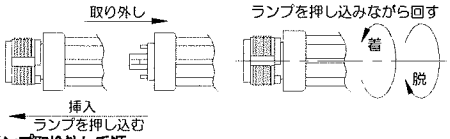
2 電源線の接続と抜きかた

1. 電源線のシースを付属のチューブの長さ以上にむいてください。(図1)
2. 電源線、アース線の被覆を端子台のストリップゲージに合わせて所定の長さ(13±1mm)にストリップしてください。(図1)
3. 電源線に付属のチューブをはめこんでください。
4. 電源線、アース線を(図1)のように確実に端子台の奥まで差し込んでください。
   ※曲がった電線を挿入したり、ねじって挿入しないでください。接続が不完全な場合は感電、火災の原因となります。
5. アース線を用いてD種(第三種)接地工事を施してください。
   ※アースが不完全な場合には感電の原因となります。
6. 送り配線は、照明器具専用です。
   ※送り容量は本体表示に従い、6A以下で使用してください。
7. 電源線、アース線を引き抜く際は、必ず電源を切り、リリースボタンをマイナスドライバーで強く押しながら電源線を引き抜いてください。



(図1)

1. ランプ取り付け手順
   手順1：ランプをソケットに合わせてまっすぐに挿入した上で、ランプをソケットに密着するように押し込む。
   手順2：ランプを押し込みながら、時計方向(下図矢印にて示す)に回す。

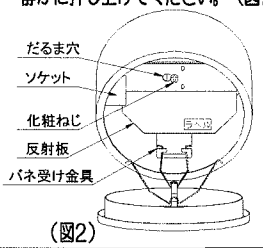


2. ランプ取り外し手順
   「ランプ取り付け手順」の逆手順

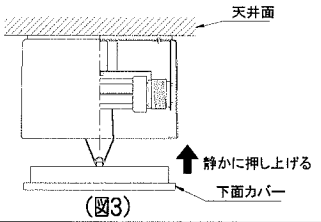
3 器具の取り付け方法

(注) 取り付けに不備がありますと落下の原因となります。

1. 本体に結線した余分な長さの電源線を天井内に押し戻してください。
   ※本体を取り付ける際に電源線を本体と天井の間にはさまないようにしてください。
2. 反射板を(図2)の位置に取り付け、化粧ねじを工具にて確実に締め付けてください。
4. ランプ(別梱包)をソケットに確実に取り付けてください。
   ※ランプの着脱方法参照
   ※ガラス部分を強く握らないでください。割れる恐れがあります
5. Vバネ(2本)をつまみ、本体のバネ受け金具に引っ掛けて下面カバーをまっすぐ静かに押し上げてください。(図2) (図3)



(図2)



(図3)

保証について

- 保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ランプ(LED電球やLEDユニットフラット形を含む)点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、**お買い上げ日を特定できるもの**を添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

部品について

- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
  弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
  補修用性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。
  (セード・グローブなどは含まれません。)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

■使用上のご注意

・周囲環境や虫の種類により誘虫レベルが異なります。

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
受付時間：365日 9:00~20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)
FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 TEL(046)862-2092 FAX(046)861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。